

1 南海トラフ地震に関する情報（臨時）が発表された場合の対応等について

南海トラフ臨時情報（調査中）	通常通りの教育活動。
南海トラフ臨時情報（注意）	通常通りの教育活動。
南海トラフ臨時情報（警戒）	本校は1週間臨時休業とする。 登校している生徒は、帰宅可能な場合は帰宅させます。（対応が違う県立高校もあります）
南海トラフ臨時情報（調査中）	通常通りの教育活動。

実際に地震が発生した場合に備えて、日頃から対応について家族等で話し合い、準備しておくことが大切です。

2 登校中に大規模地震が起きた場合の対応について

地震の揺れを感じたら

①周囲の状況を十分確認し、「落ちやすいもの」「倒れやすいもの」「移動しやすいもの」から離れてしゃがむ。

②バックなどで頭を守る。

・屋根瓦、外壁、ガラス、看板の落下に注意するとともに、ブロック塀、電柱、電線、自動販売機からできるだけ離れる。崖・山崩れ、堤防決壊、液状化現象などにも注意し、崩れそうな場所や水のそばからできるだけ離れる。

・自転車に乗っていたらすぐに降りる。

・橋や歩道橋の上にいる時は、動けるのなら早くわたりきる。

・バス乗車時は、手すりや座席にしっかりつかまる。

※大規模な災害時は「むやみに移動を開始しないこと」が重要です。最寄りの安全な場所へ移動したら、まずは混乱が収まるまで待機しましょう。「遠くの自宅より近くで待機」です。

地震の揺れがおさまったら

・崖や山崩れのおそれがある場所、河川から離れ安全な場所まで避難する。

・徒歩や自転車に使用している場合は、最寄りの避難所に行く。

・バス利用者は、乗務員の指示・誘導に従う。

・避難後、登校するか、帰宅するか、その場で待機するかは状況を判断して安全な行動を選ぶ。

3 学校への連絡について

(1) 学校 Web ページ内の【安否確認】大規模地震発生時緊急連絡用フォームで連絡を

する。

(2) 大規模地震発生後は必ず学校へ被災状況等を連絡する。その際は、NTT災害用伝言ダイヤル「171」を使用する。

*災害用伝言ダイヤル「171」の録音利用方法

171→1→(****) **-**** (自宅の電話番号) →録音

(3) 学校施設や周辺地域の被害が軽微で、十分な安全が確保され、主要交通機関、通信が復旧している場合は、学校ホームページや39メール等により登校を伝達する。被害が甚大な場合の休校措置・授業再開の伝達については、災害用伝言ダイヤルを利用する。

*災害用伝言ダイヤル「171」の再生方法

171→2→(0565)-62-1661 (学校の電話番号) →再生

注 災害伝言ダイヤル「171」の使用方法及び活用方法の詳細は、NTT ページを参照のこと。

参考

[災害用伝言板 \(web171\)](#) | [災害対策](#) | [企業情報](#) | [NTT 東日本 \(ntt-east.co.jp\)](#)

[やさしい防災・減災 備L \(そなえる\) ガイド \(家庭編\) - 愛知県 \(pref.aichi.jp\)](#)